

花尻町内新聞

発行責任者 普門茂之
編集責任者 楠木忠司

一部	50円
年間	500円
送料	100円
年間	1,000円

コロナウイルス感染症対策は？

オミクロン株の特徴は？

オミクロンに感染した人の中には、無症状で済む人から、肺炎を起こして死亡する人までさまざまです。しかし、いくつ

かの研究で、通常の新型コロナウイルスの感染症と以下の点が異なる可能性があります。

発熱（72%）・咳（58%）・だるさ（50%）などの痛み（44%）などの風邪症状が中心（沖縄での報告から）である点。通常株より潜伏期間が短い…若年での発症・入院数が増加：日本でも令和4年1月から成人だけでなく17歳以下の若年者や小児の発症例も急増しています。

まん延防止等重点措置期間 4つの岡山ルール

マスクで守る 私たちの暮らし

感染により **社会のリスクも拡大**

自分だけでなく家族にも感染のおそれ

同僚や友人等にも感染が広がる可能性

医療や福祉など社会機能への影響

誰にでも感染の可能性

すぐ近くにウイルスあり

「うつつさない」「うつらない」行動を徹底

「ラストワンメートル」こそ要注意

人との距離1m

最後の若者は「おはなしはマスク」

一人ひとりの行動変容が社会を守ることに繋がります

人を守る。

★会食は4人以下、2時間以内、家族や毎日顔を合わせている人たちと。

★3密は一つの密でも避けて、手洗い、うがいを徹底。

★不要不急の都道府県間の移動、特に感染拡大地域との往来は極力控え、移動前後、2週間は体調管理に気をつけて。

★ワクチン接種後も1枚のマスクが貴方の大切な

予算を予定しており、これらを合わせると、新型コロナウイルス対策関連予算は、55億円となります。

今後とも、感染状況に加え、地域・経済界の声を確認しながら、必要とされる経済対策や市民生活支援策は、迅速かつ積極的に講じていきます」と述べています。

児童の虐待事件で岡山市審議会を設置、町内会は何を？

今年1月あつてはならない事件が我が花尻町内会の中で発生し、誰もが大きなショックを受けています。「何とかならなかったのか」「なぜ、このような虐待が行われたのか？」との声を聞きます。

岡山市の大森市長はこの事件について、2月議会の所信表明の中で、「先般、岡山市で発生した虐待事件について申し上げます。児童の尊い命が失われたことは痛恨の極みであります。このたびの重大案件の発生を受けて、岡山市児童福祉審議会の児童処遇専門分科会を開催し、外部有識者により、事実の把握や対応の課題、さらに再発防止のために取り組むべき事項等に

また、令和3年度の2月補正予算では、国の補正予算に呼応して前倒しする事業として、PCR検査体制の継続に必要な経費、ワクチン接種関連入費など、31億円の追加

ついて、客観的かつ専門的な視点から検証を進めてまいります。」との気持ちを述べられています。

2月18日には「女児虐待外部有識者の審議会」を開催し「1月、岡山市で死亡した児童に虐待を繰り返していたとして、母親とその交際相手が逮捕された事件について、岡山市は、外部の有識者による審議会を開き、児童相談所の対応を検証するとともに、再発防止策を検討していくことになりました。

そして、岡山市は、18日午後7時から、外部の有識者による児童福祉審議会を初めて開き、これまでの児童相談所の対応を検証するとともに、再発防止策を検

討しました。審議会には、医師や弁護士それに児童福祉の専門家など6人が出席し、非公開で問題点や課題を洗い出すほか、解決に向けた提言を取りまとめ報告書として公表する予定です。」とのことです。

町内会としてもこの審議会の協議内容に注視すると共に二度と同じことを繰り返さないためにも町内会として何ができるのか、考える必要があります。

町内会としてこの審議会の協議内容に注視すると共に二度と同じことを繰り返さないためにも町内会として何ができるのか、考える必要があります。

新春クロスワード
クイズの当選者

今回のクロスワードクイズの応募者は17人でした。

1月23日、町内二役会議において、厳正な抽選の結果、左記の10人の方々が当選されました。

本町 田中 絹子様

- 長橋 裕治様
- あかね町 池田 裕治様
- ききょう町 野上 佳子様
- 東谷明日香様
- 宮脇 俊作様
- 伊原 弘隆様
- 赤井 清孝様
- みどり町 野々口 翠子様
- 別府 秀樹様

おめでとうございます

体調等によらない子育てを広げよう！

189

白石ポンプ場整備が着々と進んでいます

白石ポンプ場の建設は令和3年5月より工事に着手し、令和4年1月末



完成予想図 (イメージ図) 白石ポンプ場 完成予想図は設計時点の案であり、実際は完成予想図のとおりになるとは限りません。

までに、ポンプ棟の基礎と仮設に関する工事が概ね完了しています。令和4年2月からポンプ場本体の建設に着手し、現在（令和4年2月17日時点）、ポンプ棟の地下部分を建設するため、地盤の掘削作業（下の写真）を行っています。工事は令和5年6月の出水期供用に向けて計画通り工事は進捗しています。ポンプ棟の完成後は継続して非常用の自家発電機棟の工事を

施工します。このポンプ場の工事が完成すれば、その排出量は、小学校のプールが1分半で満水になります。



着々と進むポンプ場の工事現場

子ども会 今年度4回目の資源回収を行う

花尻子ども会育成会は、2月19日(土)、今年度4回目の資源回収を行いました。



次々と運び込まれる資源化物品

いつものように、朝9時頃より広報車で町民に資源回収の協力の呼びかけを行いました。

当日は資源化物品回収が始まる10時頃から珍しく雪が降り出しましたが、集積場である、花尻ききょう公園に次々と家用車で資源化物品が運び込まれ、新聞紙や雑誌棟はトラックに積み込み、ダンボール、空き缶などは分別してそれぞれの場所に置きました。

11時過ぎにはパッカー車が

が到着し、ダンボールを積み込みが行われました。

11時半には全ての作業が終わりました。

参加された皆さんは約30人でした。ご苦勞様でした。

また、一年を通してご協力していただいた町民の皆さん、ありがとうございます。

午後は屋外で子ども会の行事を行う予定でしたが、悪天候のため中止とし、集会所でくじ引きとお菓子が配られました。

育成会役員の方、一年間ご苦勞様でした。

川入八幡宮でも節分祭が行われる

川入八幡宮で、2月3日(内)節分祭が行われました。コロナ禍であり、参加者を限定した中で開催されました。



田井宮司による神事

まず、田井宮司による神事が行われ、その後、乾杯、



吉備中の美術部が擲いたトラの絵馬

最後に田井宮司の挨拶がありました。例年行っている豆まきは中止となりました。また、拝殿の入口には吉備中学校美術部の皆さんが作った絵馬が飾られていました。

犬の糞の処理は飼主の責任です

公園や道路は皆さんのものです

最近、犬の糞について町内から多くの苦情が寄せられています。苦情の内容は「犬の糞」の不始末です。特に苦情が多い場所は、



犬の糞の放置が多い笹ヶ瀬川堤防

あかね公園やききょう公園、それと笹ヶ瀬川の堤防です。なかには、公園の砂場で糞を片付けずに砂を掛けていた例もあります。公園は、幼い子ども達が遊ぶ場所でもあります。絶対に止めて下さい。また、笹ヶ瀬川堤防は定期的に草刈りをしていますので刈る人の身になって下さい。犬の糞を放置している人を見かけられた場合は、写真を撮るなどし、町内三役までご連絡下さい。

2月の防犯パトロールはコロナの感染拡大のため中止としました。

次回の防犯パトロールは3月19日午後8時からです。

担当はみどり町役員と子ども会育成会役員です。よろしくお願います。

3月20日予定の防災訓練は頃ウィルス感染防止のため中止に致します。

令和4年度町内会総会は、4月24日(日)の午後4時より屋外(集会所南側)で行います。



公園入口には犬の糞の注意の看板が！